

2023年度第2回Y-PORTワークショップ 金融のプロに聞く 「ベトナム・フィリピンの投資環境」

～ ビジネスマッチングを成功させるために ～

横浜市国際局

Y-PORT事業の背景・目的

横浜の強み

都市づくりの経験を有する横浜市

Resources



環境関連技術を有する市内企業

Technologies



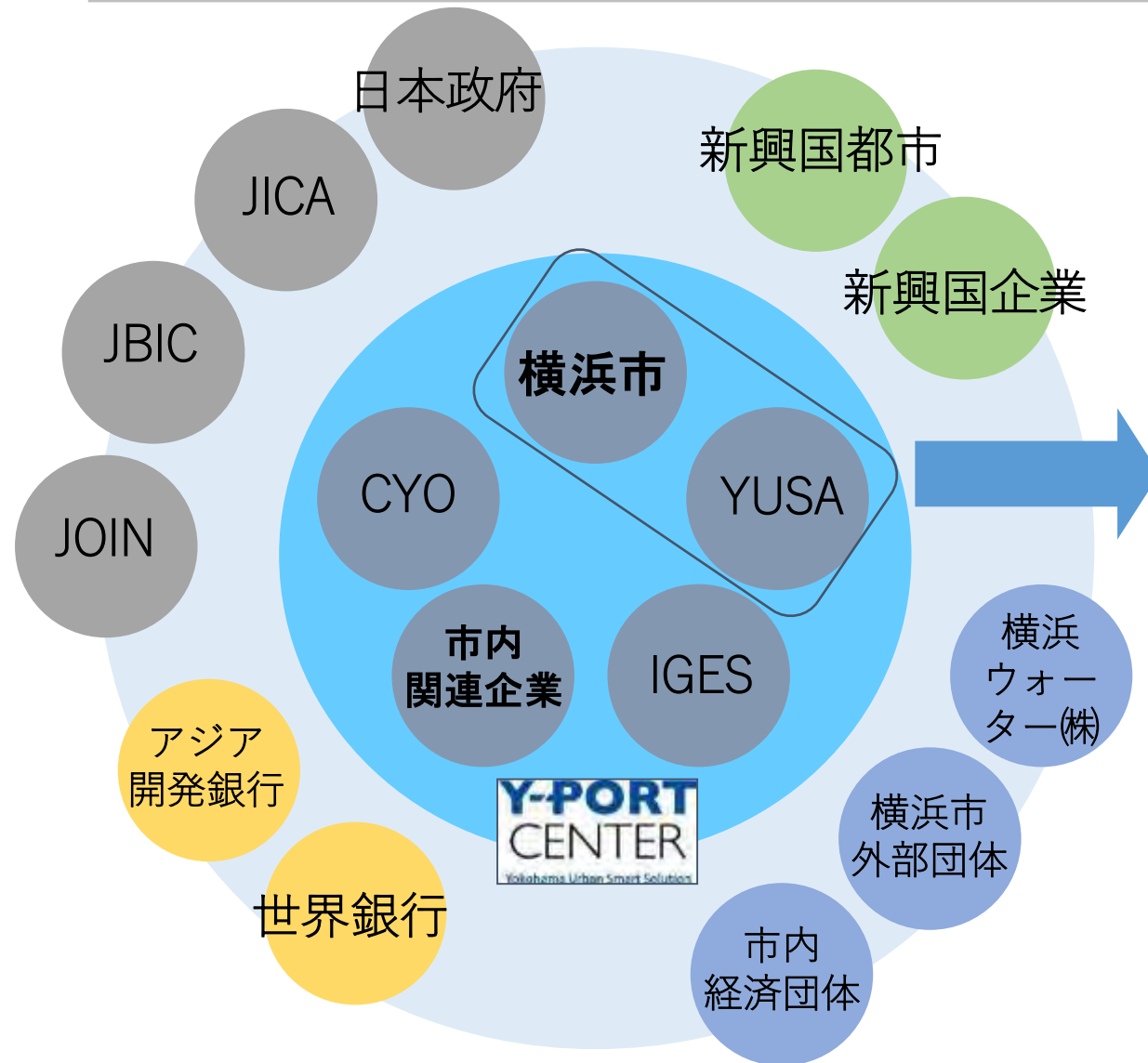
2011年 **Y-PORT事業を開始**
(横浜の資源・技術を活かした
公民連携による国際技術協力)

目的

横浜市内経済の活性化
(市内企業が海外で受注)

新興国の都市課題解決
(人口急増に対応)

Y-PORTセンター ～事業推進のプラットフォーム～



横浜市
国際局国際協力課



YUSA
(一社) YOKOHAMA
URBAN SOLUTION
ALLIANCE



Y-PORTセンター公民連携オフィス
2017年7月に開設

アジアスマートシティ会議（第12回）11月13日～15日

アジア諸国のキーパーソン（諸都市、国際機関、企業等）が一堂に会し、持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行います。（ビジネス交流機会あり）





一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA)について

<YUSA設立の背景>

新興国等では、経済成長に伴う人口増加と都市化により、ごみ問題や排水処理、交通渋滞等、様々な問題が表面化している。また地球温暖化に伴う激甚災害の被害を受けている。



横浜市もまた、戦後の経済成長により同様の課題に直面し、それを解決することで今の都市を創り上げてきた。横浜市のまちづくりの知見を、新興国等の都市課題の解決につなげられるのではないか。⇒横浜市Y-PORT事業の創出



YUSAの概要

- 横浜市内の中小企業が中心となって設立した法人
- 市内企業の海外ビジネスの機会の拡大と、新興国の都市課題解決に貢献することが目的

2017

設立



横浜市と連携協定締結

31

会員企業数

Member Companies

【正会員 A】



【正会員 B】



YUSA

事業の3つの柱

① 調査事業

日本政府や国際機関等から、海外インフラビジネスに関する調査等を受託

② 案件形成 支援事業

会員企業に対し、案件形成のための海外現地情報の提供や支援制度の案内、ビジネスパートナーの紹介等を実施

③ プロモーション事業

会員企業の技術やサービスをウェブや国際会議等で情報発信

YUSA連携事務所について — 会員企業との連携 —

- 現地での情報収集、営業活動等の重要性がこれまで以上に高まっている。
- YUSAには、現地に根を下ろして活動している会員企業があり、これら会員と連携して、他の会員企業のビジネス展開支援を実施
- 現地コーディネート、営業活動支援、調査スキーム提案支援等のメニューを想定
- YUSA横浜から、会員企業の相談を各連携事務所につなぐ。



Y-SHIP Convention (YOKOHAMA Showcase for Highly Innovative Pioneers)

Asian cities together towards Zero Carbon

12th Asia Smart City Conference

Asia Smart City Conference
in YOKOHAMA



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

Y-PORT CENTER
Yokohama Urban Smart Solution



Tokyo
Development
Learning
Center



Y-SHIP2023／アジア・スマートシティ会議

- 今年度のアジア・スマートシティ会議は、4年ぶりの対面形式で行います。ゼロカーボンでつながるアジアの都市をテーマに、メインセッション、分科会、GXビジネス交流会、海外都市向けの見学会を実施します。
- オープニングやメインセッションでは、山中市長を含む各機関の代表者が参加しますので、お誘いあわせのうえ奮ってご参加願います。
- 会議への参加は事前登録制です。一般申し込みが、以下のウェブサイトを開始されています。

Y-SHIP URL : <https://www.y-ship.yokohama/>

Y-SHIP ウェブサイトQRコード



会場：パシフィコ横浜ノース 1階G2

月日	時間	セッション名	主な登壇者(予定)
11月14日(火)	10:00-11:00	(DAY1) オープニングセッション	山中市長、駐日米国首席公使、世界銀行Global Director、アジア開発銀行市場開発・官民連携部長、日本政府関係者など
11月15日(水)	10:00-10:30	(DAY2) オープニングセッション	駐日インド大使など
11月15日(水)	10:30-11:30	アジアの脱炭素化に向けた共同宣言	山中市長、バンコク都知事、世界銀行幹部、OECD東京事務所長など

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

プレカンファレンスデー: 11/13
Day 1: 11/14(火) 10:00 – 19:00
Day 2: 11/15(水) 10:00 – 18:00

GX: Green Transformation

オープンイノベーションによる社会課題の解決

グリーンテック/ サーキュラーエコノミー
モビリティ/ ディープテック / エネルギー技術開発

Asia Smart City Conference

カーボンニュートラルに向けたアジアの都市との連携

都市間連携による持続可能な都市の発展
革新的な都市ソリューション

Y-SHIP 2023

テーマ

OPEN PORT CITY

住みやすく働きやすい、世界に開かれたビジネスハブ

アフリカビジネス – TICAD9の開催都市として
ウクライナとの連帯

WE LIVE YOKOHAMA – 誰もが住みやすい都市ヨコハマ

Y-SHIP Youth

次世代を担う若者によるセッション

アジアと横浜の大学生による共同研究発表
横浜市内高校生セッション

18国、46都市・機関・企業

主な国	都市・機関・企業
Indonesia	BAPPENAS, Balikpapan, Bandung, Jakarta
Philippines	DHSUD & Department of Science and Technology, Tourism Infrastructure and Enterprise Zone Authority, Baguio, Bayugan, Cabadbaran City, Cebu, Danao, General Santos, General Trias, Iloilo, Mandaue, Metropolitan Waterworks and Sewerage System, Santa Rosa
Thailand	BMA, EEC, Amata Corporation
Vietnam	Thua Thien Hue Province